

# UHFアンテナ (家庭用)

UHF ANTENNAS

UHF ch.13~52

U146

(14エレメント)

U206

弱電界地域用  
(20エレメント)



## 取扱説明書

75Ω用(F型端子)

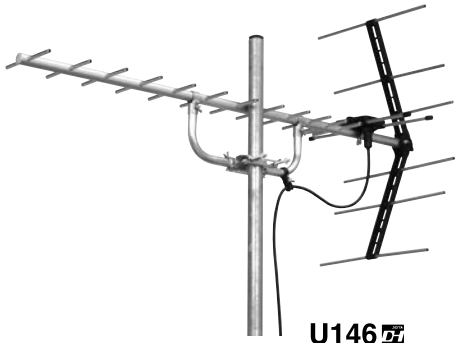
水平・垂直偏波用

- 電波の著しく弱い場所では受信できません。
- 障害物があり、見通しの悪い場所では受信できないことがあります。

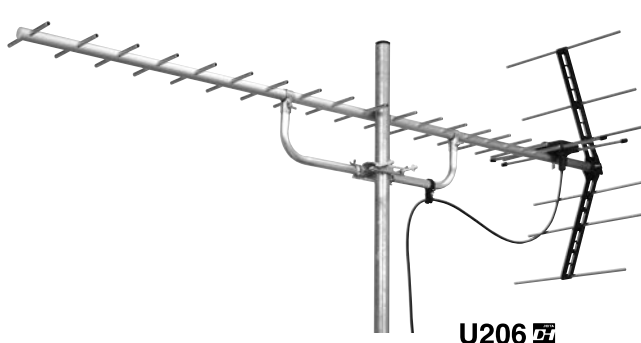
このアンテナに接続ケーブルは付属していません。必要な長さの75Ωケーブルをお求めください。

### 付属品

F型コネクター …… 1個  
(5Cケーブル用)  
防水キャップ …… 1個



U146



U206

## 安全上のご注意

### 必ずお読みください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

#### 絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。



○記号は、禁止の行為を示しています。



●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。



**警告**



●雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



**注意**



●雨降りや強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。  
●腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに危害や損害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。



●高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。  
●アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具、工具などをヒモで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。  
●アンテナの取付け、支線張りなどの作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。  
●高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。  
●アンテナや取付金具、マストなどに異常があったり、ビスやボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確認してから、アンテナや取付金具、マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損、変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。  
●感電防止のため、アンテナは電線(電灯線、高圧線、電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。  
●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行ってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。



●アンテナを高所や屋根に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

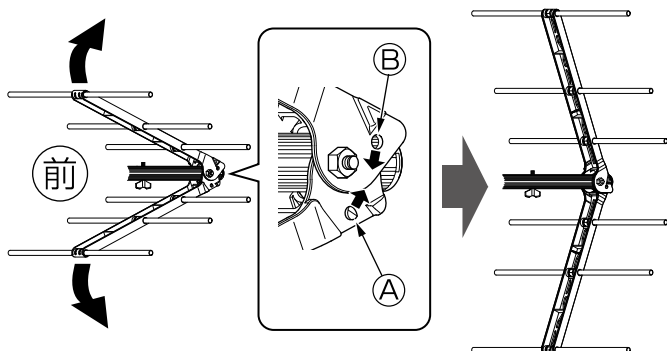
# アンテナを設置する

## 設置に必要な工具

●スパナ(11mm用) ●カッターナイフ ●ニッパー ●ペンチ

### 1. アンテナ後方に付いているコーナーリフレクターを上下に広げます。

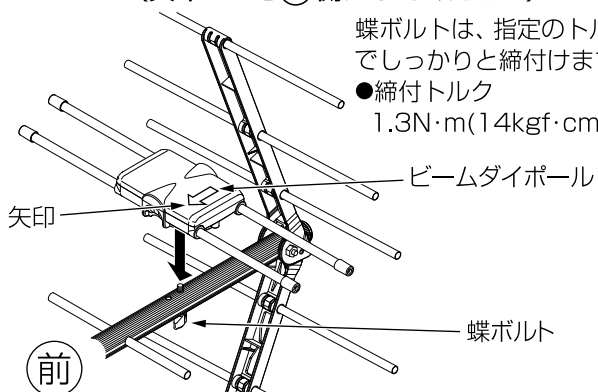
①の突起が②の孔に入り、カチッと音がるまで広げます。



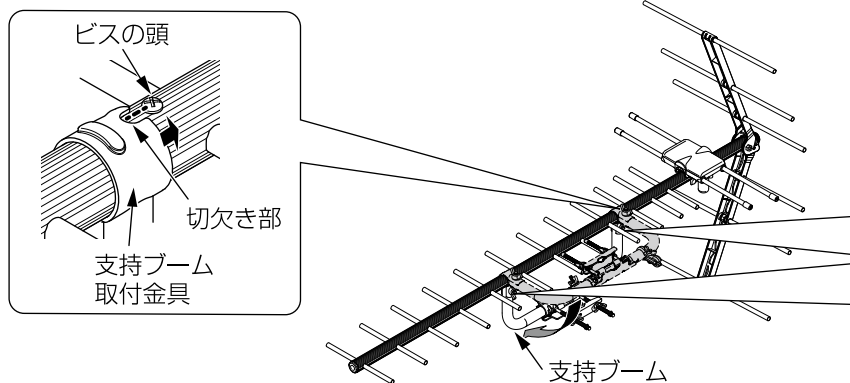
### 2. アンテナ後方に付いている蝶ボルトでビームダイポールを取付けます。(矢印←を(前)側にしてください)

蝶ボルトは、指定のトルクでしっかりと締付けます。

●締付トルク  
1.3N・m(14kgf・cm)



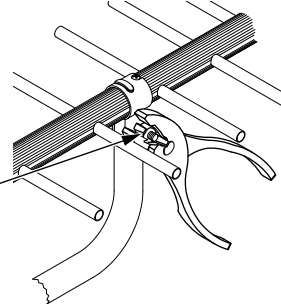
### 3. 支持ブームを90°起こし、支持ブーム取付金具をずらして金具の切欠き部をブームに取付けてあるビスの頭にはめ込みます。



### 4. 支持ブームの蝶ナット(2か所)を指定のトルクで締付けます。

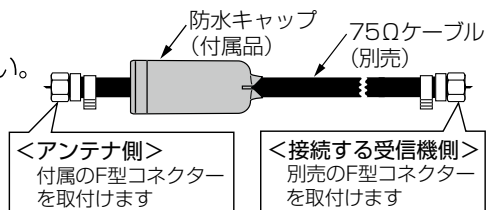
支持ブームの  
蝶ナット  
(2か所)

蝶ナット  
●締付トルク  
1.8N・m  
(19kgf・cm)



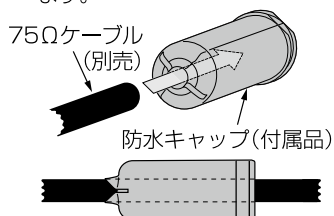
### 5. 別売の75Ωケーブルに付属のF型コネクタを取付けます。確実に取付けしないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- 接触不良やショートを防ぐため、コネクタははていねいに取付けてください。
- 75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- 付属のF型コネクタは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクタをお使いください。

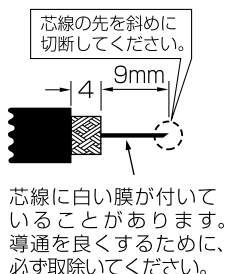


#### 1 ケーブルを付属の防水キャップに通します。

別売の75Ωケーブルで、防水キャップの薄い部分を突き破ります。

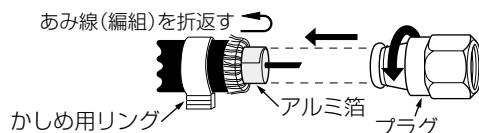


#### 2 ケーブルを加工します。(加工寸法は原寸大です)



#### 3 プラグを取付けます。

- ① かしめ用リングにケーブルを通します。
- ② あみ線(編組)を折返します。
- ③ プラグの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、しっかりと押し込みます。



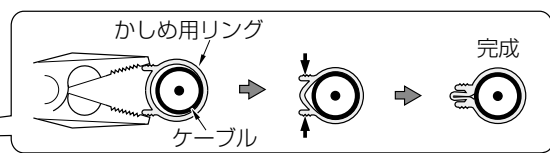
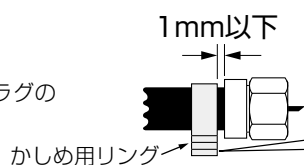
#### あみ線・アルミ箔のショートに注意

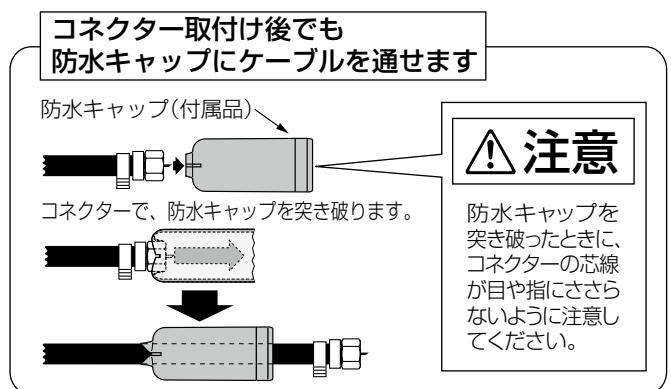
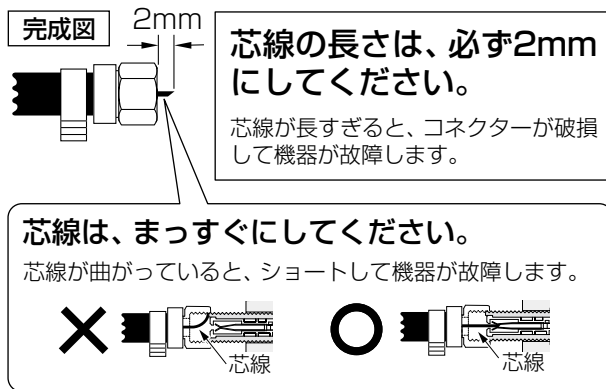
あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビが見られなくなります。



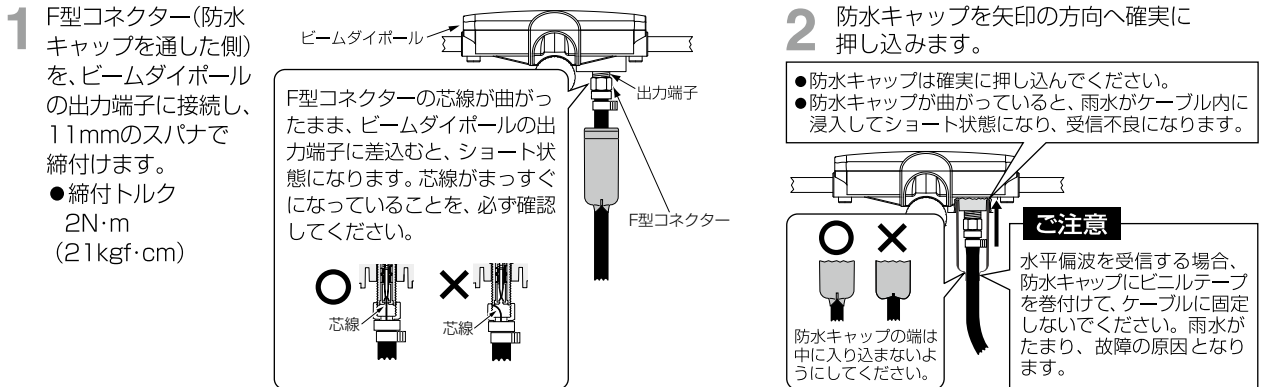
#### 4 かしめ用リングをペンチで圧着します。

プラグが抜けないように、プラグの根元でしっかりと圧着します。





## 6. 75Ωケーブルをビームダイポールの出力端子に接続します。

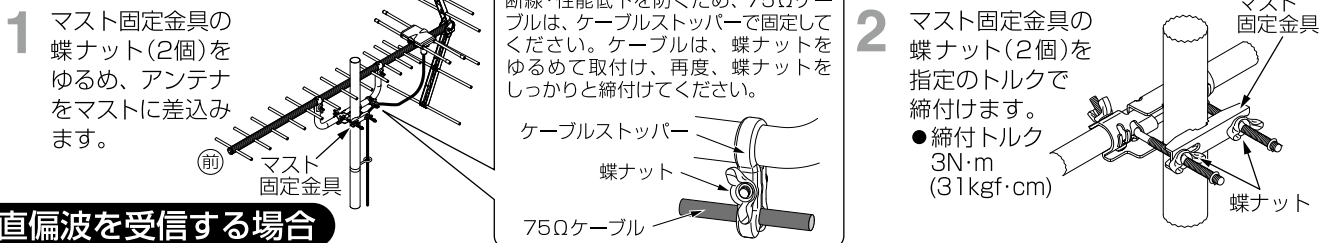


## 7. 別売のマスト(適合マスト径 $\phi 22 \sim 48.6\text{mm}$ )にアンテナを取付けます。受信する電波が、水平偏波か垂直偏波かで、取付けるアンテナの向きが変わります。

### ご注意

- マストは垂直に建ててください。●マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。
- しっかりと取付けるために、支持ブームの蝶ナットは、工具を使用して、指定のトルクで均等に締付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。蝶ナットの変形や破損の原因となります。

### 水平偏波を受信する場合



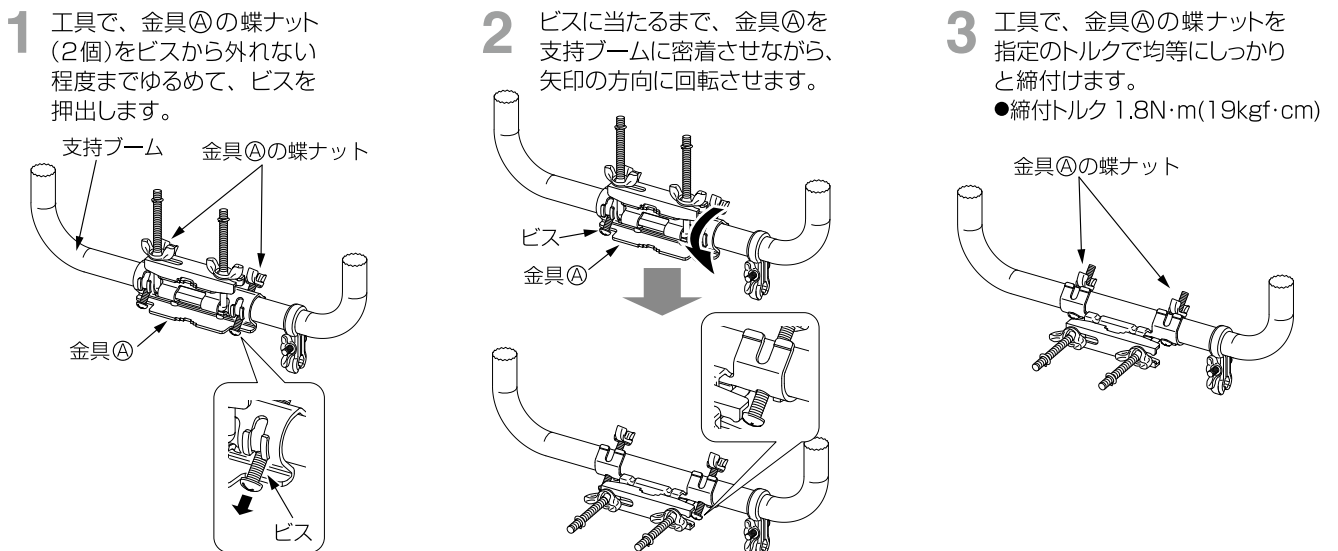
### 垂直偏波を受信する場合

### マスト固定金具の回転

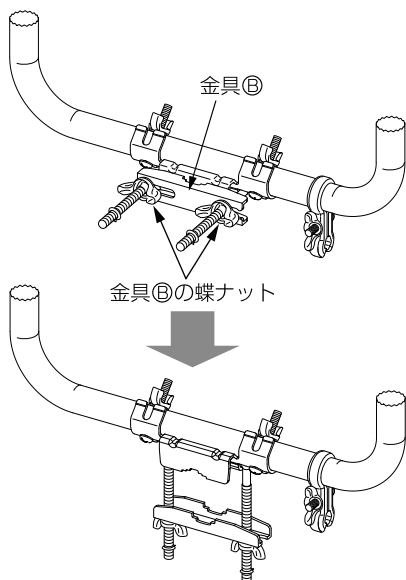
垂直偏波を受信する場合、下記の手順にしたがって、マスト固定金具を回転させてください。

### ご注意

マスト固定金具の回転は、アンテナをマストに取付ける前に行なってください。

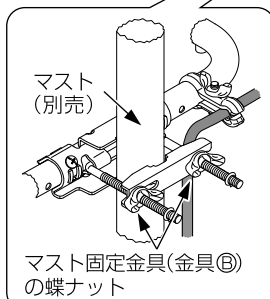


#### 4 マスト固定金具(金具⑥)の蝶ナット(2個)をゆるめます。



#### 5 マスト固定金具(金具⑥)の蝶ナット(2個)を指定のトルクで均等にしっかりと締付けます。

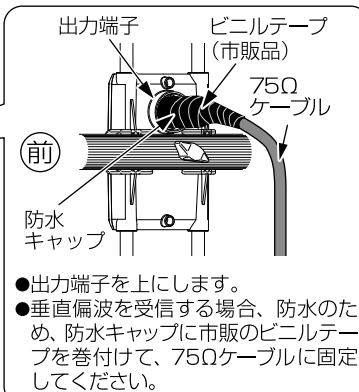
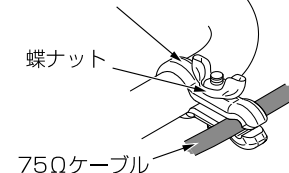
- 締付トルク 3N・m(31kgf・cm)



#### ケーブルストッパー

断線・性能低下を防ぐため、75Ωケーブルは、ケーブルストッパーで固定してください。ケーブルは、蝶ナットをゆるめて取付け、再度、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

#### ケーブルストッパー



- 出力端子を上に出します。
- 垂直偏波を受信する場合、防水のため、防水キャップに市販のビニルテープを巻付けて、75Ωケーブルに固定してください。

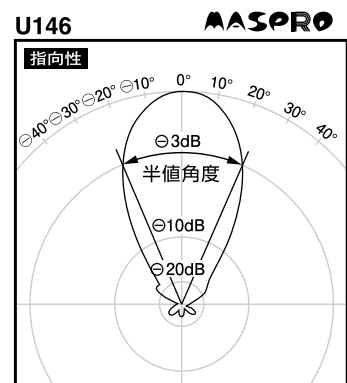
## 規格表・性能

### 規格表

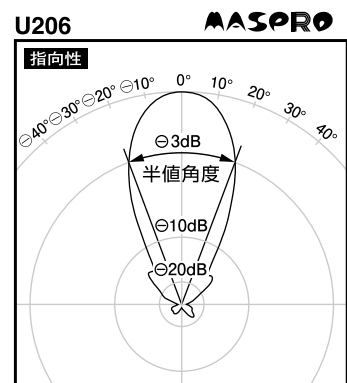
Specifications

| 項目<br>Items                         | U146                        | U206                        |
|-------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 受信チャンネル<br>Reception Channels       | ch.13 ~ 52                  |                             |
| エレメント数<br>Number of Elements        | 14                          | 20                          |
| 動作利得(感度)<br>Antenna Gain            | 8 ~ 12.4dB                  | 8.5 ~ 13.7dB                |
| VSWR<br>Voltage Standing Wave Ratio | 2.5以下                       |                             |
| 前後比<br>Front to Back Ratio          | 18 ~ 28dB                   | 19 ~ 28dB                   |
| 半値角度<br>Half Power Beam Width       | 32 ~ 56°                    | 26 ~ 53°                    |
| インピーダンス<br>Impedance                | 75Ω (F型コネクタ)                |                             |
| 使用温度範囲<br>Temperature Range         | ⊖20 ~ ⊕40℃                  |                             |
| 適合マスト径<br>Adaptable Mast Diameter   | 22 ~ 48.6mm                 |                             |
| 外観寸法<br>Dimensions                  | 1030(L) × 373(W) × 544(H)mm | 1480(L) × 373(W) × 544(H)mm |
| 質量(重量)<br>Weight                    | 約920g                       | 約1.1kg                      |

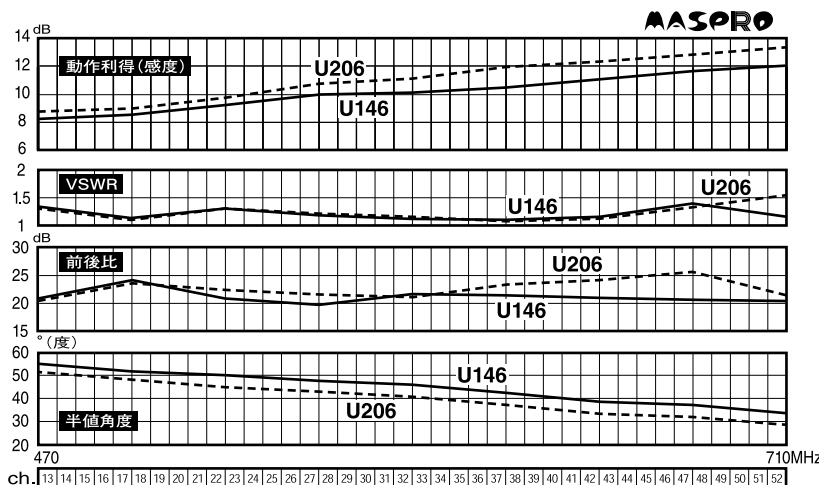
### 性能



ch.33 半値角度 46°



ch.33 半値角度 41°



＝マツダ電工＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談 **0570-091119**

ナビダイヤル® 固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます  
IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは **052-805-3366**  
受付時間 9~12時、13~17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット [www.maspro.co.jp](http://www.maspro.co.jp)

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

JUL., 2024

Master of PRODUCTION  
生産の覇者

2K56-652

MY/TK-46-5852-4-1T